

令和6年度

教育委員会事務事業の点検・評価報告書
(対象:令和5年度事業)

令和6年10月

田布施町教育委員会

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条の規定に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされています。

田布施町教育委員会(以下「町教育委員会」という。)では、法の規定に則り、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、令和5年度の町教育委員会の事務事業の執行状況について点検及び評価を行い、教育に関し学識経験を有する者の知見を踏まえた上で、その結果をまとめましたので、報告します。

2 点検及び評価の実施

(1) 対象事業

令和5年度に実施した町教育委員会の事業のうち、「令和5年度田布施町の教育」に掲げる主要な事業を選定し、「田布施町総合計画」に定める具体施策ごとに分類して、点検及び評価を行いました。

(2) 評価の方法

事業の概要、実績、経費の執行状況、課題などを内容とする「事業の点検・評価票」を作成し、下記の評価基準に基づき、町教育委員会事務局が内部評価を行うとともに、評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する者として町教育委員会が委嘱した3名の委員による外部評価を実施しました。

(評価委員)

高 橋 邦 子	元田布施町教育委員
木 村 正 嗣	元中学校校長
谷 茂 子	元小学校教頭

(評価基準)

A	目的を達成できた。
B	取組における改善の検討はあるものの概ね目的を達成できた。
C	目的の一部を達成できたが、取組の改善が必要である。
D	目的の一部しか達成できず取組の抜本的な改善が必要である。

(3) 事業の一覧表

■ 学校教育課

【施策】学校教育の充実

No	事業名
1	教育委員会運営事業
2	スクールバス運行事業
3	小学校管理事業
4	小学校教育振興事業
5	中学校管理事業
6	中学校教育振興事業
7	保健関係事業
8	就学援助事業
9	教員補助者設置事業
10	幼児教育推進事業
11	生徒指導推進事業
12	学力向上推進事業
13	体力向上推進事業
14	特別支援教育推進事業
15	キャリア教育推進事業
16	コミュニティ・スクール(CS)推進事業
17	学校給食センター運営事業

■ 社会教育課

【施策】社会教育施策の充実

No	事業名
18	生きがい教室開催事業
19	学校・家庭・地域連携協力推進事業
20	二十歳のつどい開催事業
21	人権教育推進事業
22	青少年の健全育成事業

■ 社会教育課

【施策】文化の継承と振興

No	事業名
23	地域公民館まつり開催事業
24	公民館運営事業
25	公民館施設管理事業
26	図書館管理運営事業
27	郷土館管理運営事業
28	埋蔵文化財調査事業
29	町史編修事業

■ 社会教育課

【施策】スポーツの振興

No	事業名
30	スポーツ推進体制強化事業
31	生涯スポーツ推進事業
32	我がまちスポーツ推進事業
33	スポーツセンター管理運営事業

3 点検及び評価の結果

(1) 事務事業の評価結果集計(全体)

評価対象年度	業務評価				
	A	B	C	D	計
令和5年度 (構成比%)	25 (75.8%)	7 (21.2%)	1 (3.0%)	0 (0%)	33 (100.0)

(2) 事務事業の点検・評価票

【No. 1】

事務事業	教育委員会運営事業	担当課	学校教育課
------	-----------	-----	-------

1 事務事業の概要

教育委員会会議の開催や教育委員の研修及び学校訪問等

2 事務事業のコスト

単位:千円

令和4年度決算額	令和5年度決算額
706	706

3 事務事業を構成する業務

No	業 務 名	No	業 務 名
1	教育委員会会議及び協議会(4回開催)	4	教育委員研修会
2	総合教育会議開催(2回開催)	5	その他教育関係行事参加 (小中学校卒業式、運動会等)
3	教育委員学校訪問(町内小中学校)	6	

4 事務事業の評価

評価	主な理由
A	各校の状況の把握に努め、十分な取り組みができています。 田布施町教育振興基本計画策定に伴い、更なる本町教育の充実・発展が期待できる。

5 事務事業の今後の課題

教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について適正な点検及び評価を行い、今後の教育行政に反映する取組を進めている。また、総合教育会議を2回開催し、いじめ問題・不登校対策、全国学力・学習状況調査、部活動の移行など現状や課題について町長部局との連携を図った。

令和5年度新たに令和9年度までの5年間の「田布施町教育振興基本計画」を作成。4つの柱として施策を展開することとし、本町教育の充実・発展に努める。

【No. 2】

事務事業	スクールバス運行事業	担当課	学校教育課
------	------------	-----	-------

1 事務事業の概要

学校の統廃合等により、遠距離通学となる児童生徒の通学条件の緩和を図るため、町所有のスクールバス3台及びタクシーの運行を交通業者に委託

2 事務事業のコスト

単位:千円

令和4年度決算額	令和5年度決算額
10, 574	10, 700

3 事務事業を構成する業務

No	業 務 名	No	業 務 名
1	対象児童生徒の登下校の送迎	4	
2	校外活動での送迎	5	
3	部活動での送迎	6	

4 事務事業の評価

評価	主な理由
A	運転手の確保が困難な中、安心・安全な運行ができています。 学校の諸活動への活用、児童生徒数の減少に伴う効率化等改善を進めながらの運用が評価できる。

5 事務事業の今後の課題

小行司便（東田布施小学校・田布施中学校）、国木・竹尾便（田布施西小学校）、麻里府便（麻郷小学校）の3便を運行し、遠距離通学の児童生徒の通学条件の緩和や登下校の安全を図った。

令和6年度以降、小行司から通学する児童・生徒が見込まれないため、小行司便を廃止し、木地自治会の児童については、ルート変更した西小便の利用により継続利用を可能とする。西小便の一部ルート変更に伴い、西小と東小との調整が必要になるが、トラブル等が発生しないよう注意が必要。

バス1台は不要となるが、経年に伴い多額の維持管理費を要するため、令和6年度以降の利用について検討を行う必要がある。

今後も安心・安全のもとスクールバスの適正な運用に努める。

【No. 3】

事務事業	小学校管理事業	担当課	学校教育課
------	---------	-----	-------

1 事務事業の概要

所管する4小学校の施設維持管理及び学校設備等の整備を行う

2 事務事業のコスト

単位:千円

令和4年度決算額	令和5年度決算額
172, 080	23, 986

3 事務事業を構成する業務

No	業 務 名	No	業 務 名
1	きめ細かな教育環境整備事業	4	小学校整備事業(工事)
2	小学校管理業務(光熱水費)	5	小学校整備事業(備品)
3	小学校整備事業(修繕)	6	小学校管理業務(委託料)

4 事務事業の評価

評価	主な理由
A	各学校の老朽化に対し、年次計画を立て、着実に順次改修が進められている。 学校プールの老朽化に伴い、財政的な制約がある中で B&G プールでの授業を充実に向け計画的に実施されている。

5 事務事業の今後の課題

今後も各学校の老朽化に伴う修繕に対応する必要がある。 大規模改修を計画的に進める。
--

【No. 4】

事務事業	小学校教育振興事業	担当課	学校教育課
------	-----------	-----	-------

1 事務事業の概要

児童、教職員の教育振興・充実を図る事業等である。主なものは、総合的な学習の時間等関係経費、教職員研修会等への補助金

2 事務事業のコスト

単位:千円

令和4年度決算額	令和5年度決算額
2, 346	3, 152

3 事務事業を構成する業務

No	業 務 名	No	業 務 名
1	理科振興備品整備	4	陸上記録会／総合的な学習支援
2	図書室用図書整備	5	各種団体負担金助成
3	運動用具整備	6	

4 事務事業の評価

評価	主な理由
B	児童が興味をもつ図書への入れ替えを計画的に進めてほしい。 理科振興備品整備の推進に伴い、児童が備品に触れる機会が増えている。さらに、教育技術の向上に努めてほしい。

5 事務事業の今後の課題

令和5年度は、理科振興備品や運動用具の整備で決算額が増額している。
理科振興備品における最重点備品の整備率を向上するため、令和6年から計画的に整備を開始しており、着実に継続することが必要である。
学校図書は、学校図書館図書標準に定める必要数を1校(東小)が満たしていない。令和6年度は、学級数減少に伴い必要数を満たす見込である。しかし、蔵書には出版から20年を超える本が多く、児童が手に取らない。図書の入替えを促進する必要がある。

【No. 5】

事務事業	中学校管理事業	担当課	学校教育課
------	---------	-----	-------

1 事務事業の概要

所管する中学校の施設維持管理及び学校設備等の整備を行う

2 事務事業のコスト

単位:千円

令和4年度決算額	令和5年度決算額
14, 232	14, 858

3 事務事業を構成する業務

No	業 務 名	No	業 務 名
1	中学校管理業務(光熱水費)	4	中学校整備事業(備品)
2	中学校整備事業(修繕)	5	中学校管理業務(委託料)
3	中学校整備事業(工事)	6	

4 事務事業の評価

評価	主な理由
A	限られた予算の中で、計画的に進められている。

5 事務事業の今後の課題

老朽化に伴う修繕に対応する必要がある。 大規模改修を計画的に進める。
--

【No. 6】

事務事業	中学校教育振興事業	担当課	学校教育課
------	-----------	-----	-------

1 事務事業の概要

生徒、教職員の教育振興・充実を図る事業等である。主なものは、総合的な学習の時間等関係経費、教職員研修会等への補助金

2 事務事業のコスト

単位:千円

令和4年度決算額	令和5年度決算額
2, 380	3, 244

3 事務事業を構成する業務

No	業 務 名	No	業 務 名
1	理科振興備品整備	4	陸上記録会／総合的な学習支援
2	図書室用図書整備	5	各種団体負担金助成
3	運動用具整備	6	

4 事務事業の評価

評価	主な理由
B	生徒が興味をもつ図書の充実を図ってほしい。

5 事務事業の今後の課題

令和5年度は、理科振興備品や運動用具の整備で決算額が増額している。

理科振興備品における最重点備品の整備率を向上するため、令和6年から計画的に整備を開始しており、着実に継続することが必要である。

学校図書は、学校図書館図書標準に定める必要数を満たしていない。令和6年度は、学級数減少に伴い必要数を満たす見込である。しかし、蔵書には出版から20年を超える本が多く、生徒が手に取らない。図書の入替えを促進する必要がある。

【No. 7】

事務事業	保健関係事業	担当課	学校教育課
------	--------	-----	-------

1 事務事業の概要

学校保健安全法に基づく小中学校児童生徒や教職員に係る各種健康診断等の実施

2 事務事業のコスト

単位:千円

令和4年度決算額	令和5年度決算額
3, 534	3, 584

3 事務事業を構成する業務

No	業 務 名	No	業 務 名
1	教職員健康診断	4	フッ化物洗口指導(新1年生対象)
2	児童生徒健康診断	5	医師による食物アレルギー研修会
3	就学時健康診断	6	

4 事務事業の評価

評価	主な理由
A	児童生徒及び教職員の健康診断が確実に実施され、教職員へのメンタルヘルス取り組みも計画的に行われている。

5 事務事業の今後の課題

児童生徒及び教職員の健康診断を定期的、安定的に実施しており、今後も継続していく。 治療や再検査の必要性について、保護者の理解が得られるよう十分な説明に努める。 児童生徒が健康で安心した学校生活を送れるよう、学校医、学校歯科医及び学校薬剤師と連携を深め、疾病の早期発見、早期治療、健康管理の維持向上に努める。 教職員のメンタルヘルス不調を未然に防止するため、ストレスチェックオプション活用の推進や校長等の面談を継続して行う。

【No. 8】

事務事業	就学援助事業	担当課	学校教育課
------	--------	-----	-------

1 事務事業の概要

経済的な理由による就学困難な児童生徒の保護者に対して、必要な援助をする。

2 事務事業のコスト

単位:千円

令和4年度決算額	令和5年度決算額
9, 768	9, 798

3 事務事業を構成する業務

No	業 務 名	No	業 務 名
1	就学援助	4	
2		5	
3		6	

4 事務事業の評価

評価	主な理由
A	事業は確実に実施されている。 今後も申請漏れのないよう、情報を得やすい細やかなサービスに努め、周知を図ってほしい。

5 事務事業の今後の課題

学校教育法第 19 条の規定に基づき、経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対して充実した支援を行った。

援助を受けるにあたり、毎年申請が必要である。申請漏れを防ぐため、広報やホームページに事業案内を掲載し、更に、新入学予定者及び田布施町内の各小中学校に通っている全児童・生徒に対して案内文を配付する等、制度の周知徹底を図っている。

教育委員会で申請手続きを行っているが、業務時間内の来庁が困難な世帯が増えているため、申請しやすい環境を整える必要がある。

【No. 9】

事務事業	教員補助者設置事業	担当課	学校教育課
------	-----------	-----	-------

1 事務事業の概要

特別な教育的支援を必要とする児童の、学校教育に適応できる環境を整えることにより、きめ細かな指導を行う。

2 事務事業のコスト

単位:千円

令和4年度決算額	令和5年度決算額
7, 780	8, 196

3 事務事業を構成する業務

No	業 務 名	No	業 務 名
1	教員補助者設置	4	
2		5	
3		6	

4 事務事業の評価

評価	主な理由
A	人材確保が困難な状況の中、各校の実情に応じて配置されている。引き続き、学校現場の負担軽減となるよう人材確保に努めてほしい。

5 事務事業の今後の課題

教員補助者の配置により、児童が落ち着いた環境で授業ができていると学校からの評価は高い。
 しかしながら、勤務時間のシフト調整等労務管理の複雑化、新たな採用に係る人材不足が課題となっており、教員補助者の確保に苦慮している。
 各校の実状に応じ、児童にきめ細やかな支援ができるよう適正に配置し、学校管理職、担任及び教員補助者が情報共有できる場を定期的に設け、対象児童に適した支援に努める。
 児童が充実した学校生活を送れるよう特別支援教育、個別生活支援等、多様な支援の確保に努める。

【No. 10】

事務事業	幼児教育推進事業	担当課	学校教育課
------	----------	-----	-------

1 事務事業の概要

幼児期の教育の重要性を再認識し、幼児一人ひとりの個性を尊重するとともに、社会生活における望ましい習慣や態度を育成する。また、幼児教育の質の向上を図り、幼児期から連続性・一貫性のある教育の充実に努める。

2 事務事業のコスト

単位：千円

令和4年度決算額	令和5年度決算額
—	396

3 事務事業を構成する業務

No	業 務 名	No	業 務 名
1	柳井市幼児ことばの教室との提携	4	小中学校教員による園訪問
2	園訪問(次年度就学児情報収集)	5	1年生「スタートカリキュラムの作成」及び取組に対する指導
3	保幼小連絡協議会の開催	6	

4 事務事業の評価

評価	主な理由
A	保育園等関係各署との連携が非常に重要である。 以前より保幼小中の連携を進めるための政策が計画性をもって実施されている。

5 事務事業の今後の課題

幼保園と小学校のなめらかな接続のために県教育委員会が作成を推奨している「架け橋期のカリキュラム」の作成にとりかかる。そのためにはまず、各園との協議、保育士、教員への周知及び研修を行い、カリキュラム作成への気運を高めていく必要がある。町民福祉課との連携の下、園及び学校の共通理解を得た上で実務担当者と具体的なカリキュラムの作成に取り組んでいく。

【No. 11】

事務事業	生徒指導推進事業	担当課	学校教育課
------	----------	-----	-------

1 事務事業の概要

児童生徒が互いの心身を大切に尊重し合える学校づくりや、小中学校で一貫した指導体制の確立、また、いじめや不登校への早期発見・早期対応により、個に応じたきめ細かな支援体制を確立する。

2 事務事業のコスト

単位:千円

令和4年度決算額	令和5年度決算額
1, 483	1, 675

3 事務事業を構成する業務

No	業 務 名	No	業 務 名
1	SC、SSWの積極的な活用	4	町民福祉課との情報交換実施
2	早期発見のためのいじめアンケート実施、教育相談等の充実	5	田布施町いじめ問題対策連絡協議会の開催
3	ケース会議の開催	6	小中連携推進連絡協議会の開催

4 事務事業の評価

評価	主な理由
A	SC、SSWに必要な予算対応がされており、支援がしっかり行われ、事業が実施されている。SC、SSW配置に伴い、教員が専門的な相談ができる体制が整備されている。 状況は予断を許さないので、学校の状況を常に把握する努力を継続してほしい。

5 事務事業の今後の課題

・SC活動件数 のべ90回 ※不足していたため、12月補正により10時間追加

・SSW活動件数 のべ53回出勤

小学校の不登校が増加に転じている。中学校は減少傾向にある。体調不良や偏頭痛で休む日が多い児童生徒の中には長時間のスマートフォン利用やゲーム等で生活習慣が乱れ、寝不足から体調を崩している子どももいる。

暴力行為は小学校で6件発生した。自制ができず自分勝手な短絡的な行動から発生している。中学校では14件発生している。原因は様々で、被害者が先に加害者が激昂するようなことを言っていたり、正しいことをしようとしているのだが、やり方が相手を怒らせるようなものだったり、ソーシャルスキルの未熟さが感じられる。

いじめの認知件数は小学校では昨年度より減少に転じたが、中学校は増加傾向である。毎週いじめアンケート実施することで、どんな小さな事案でも積極的に認知する意識は高い。今後も、各学校・関係機関や専門家との連携を密にし、早期発見・早期対応はもとより、個に応じたきめ細かな支援体制の強化を図っていく。

【No. 12】

事務事業	学力向上推進事業	担当課	学校教育課
------	----------	-----	-------

1 事務事業の概要

学校の組織的な取組、授業改善を含めた工夫や教員一人ひとりの授業力向上、学習環境づくりに努めるとともに、学習習慣の確立と主体的な学習態度の育成を図る。

2 事務事業のコスト

単位:千円

令和4年度決算額	令和5年度決算額
8, 205	9, 435

3 事務事業を構成する業務

No	業 務 名	No	業 務 名
1	県派遣指導主事人件費	4	授業改善、学力向上のための情報共有と指導・助言
2	指導主事の学校訪問による指導、支援	5	町学力向上担当者会議の開催
3	校内研修(研究授業及び一人一授業)への指導・助言	6	

4 事務事業の評価

評価	主な理由
B	成果を上げつつあるが、若手教職員の育成や学力の二極化など課題は多い。 学習意欲を高め、学習内容の定着化を図るための授業の工夫がとても大事である。そのための校内研修の充実を図ってほしい。 小中学校全体でのやまぐち学習支援プログラムへの取り組み等今後の結果に期待する。

5 事務事業の今後の課題

全国学力・学習状況調査及び山口県学力調査における町内児童生徒の平均正答率は、全国や県平均を上回る学校が多くなった。昨年度から「やまぐち学習支援プログラム」の収納ボックスを町内各学校へ配備し、計画的に実施した成果が少しずつ出たのではないかと考えている。しかしながら、上位層と下位層の二極化がまだまだ垣間見えるのが現状である。その対策の一環として、補充学習(朝学習や昼休み等を利用した抜き出し学習)の充実に向けた取組を各学校へ依頼しているところである。

町内では若手教職員が増加しており、人材育成に重点を置いた校内研修や一人一授業の実施することで、教職員の授業改善を進めるなど、持続的な研修体制の構築を図っていく必要がある。

【No. 13】

事務事業	体力向上推進事業	担当課	学校教育課
------	----------	-----	-------

1 事務事業の概要

体育の授業や町の体育的行事等を核としながら、体育的活動の充実を図るとともに、児童生徒の体力の向上を目指す。

2 事務事業のコスト

単位:千円

令和4年度決算額	令和5年度決算額
—	—

3 事務事業を構成する業務

No	業 務 名	No	業 務 名
1	「体力向上プログラム」の作成及び「1校1取組」に対する指導	4	
2	町内小学校陸上記録会へ小学校5,6年生が参加	5	
3	体力テスト等のデータ集積による課題把握、分析、取組に対する指導助言	6	

4 事務事業の評価

評価	主な理由
B	体力低下は子どもたちの心身の健康健全な育成に影響を及ぼすと感じる。 運動の機会が少なくなっている中、児童生徒の体力の現状を把握し、課題を理解することが重要。 学校が体力向上への取り組みを行いやすいように支援を行ってほしい。

5 事務事業の今後の課題

体力低下は町内でも大きな課題としてあげられる。中学校では部活動地域移行が進んだり、社会全体がゲーム機やスマートフォンをもつ子どもが増えたりしているのが現状である。友だちと外で遊んだり、野外体験を行ったりする子どもが激減していく中で、如何に体力の向上をめざすかが課題である。町で「第2期田布施町スポーツ振興計画」や各学校で「体力向上プログラム」等を作成し、町全体としての取組・活動や始業前や行間体育、放課後等を利用して体力向上に取り組めるように推進しているところである。

【No. 14】

事務事業	特別支援教育推進事業	担当課	学校教育課
------	------------	-----	-------

1 事務事業の概要

児童生徒一人ひとりの障害の状況や教育的ニーズに対して、正しい認識と共通理解のもと、教育的支援を計画的に推進する。
--

2 事務事業のコスト

単位:千円

令和4年度決算額	令和5年度決算額
—	—

3 事務事業を構成する業務

No	業 務 名	No	業 務 名
1	特別支援学級・通級指導教室の取組に対する支援(学校訪問・総合支援学校との連携)	4	
2	教育支援委員会の開催	5	
3	校内コーディネーター研修会の開催(柳井地域合同開催)	6	

4 事務事業の評価

評価	主な理由
B	対象児童生徒は増加しており、校内体制の整備や教員の資質向上等、まだ改善の余地がある。

5 事務事業の今後の課題

支援を要する児童生徒が増加し、指導が困難なケースが増えてきている。また、経験の浅い校内コーディネーターが増えてきているなど、特別支援担当教職員の資質向上も急務となっている。各校への伴走支援として現場の状況に応じて総合支援学校の地域コーディネーターと学校をつなぎ、教職員への専門的な研修・指導・支援ができるようにする。 スクールワイド PBS の取組を全町で推進していくため、その推進体制作りを令和6年度中に行う。
--

【No. 15】

事務事業	キャリア教育推進事業	担当課	学校教育課
------	------------	-----	-------

1 事務事業の概要

社会的・職業的自立に向けた勤労観、職業観等を身に付けるためのキャリア教育・職業教育の推進と進路指導の充実を図る。
--

2 事務事業のコスト

単位:千円

令和4年度決算額	令和5年度決算額
—	—

3 事務事業を構成する業務

No	業 務 名	No	業 務 名
1	キャリア教育全体計画の見直し等に関する指導	4	
2	10歳の集い(1/2 成人式)、志教育の奨励	5	
3	社会見学や職場訪問、職場体験に関する指導・助言	6	

4 事務事業の評価

評価	主な理由
A	職場訪問、職場体験が実施され、キャリア教育の推進やふるさとを愛する気持ちの育成が行われている。

5 事務事業の今後の課題

中学校において、4年ぶりに職場訪問、職場体験を実施することができた。将来の自己の職業を見据えて、町内の事業所を中心に働くことの意義ややりがい学ぶ活動となった。また立志式や 1/2 成人式等も各学校で実施され、将来の自分を見つめ直すきっかけ作りになっている。 中学校の学校運営協議会では、「田布施町をさらに魅力的にするために、私たちができること」をテーマに熟議が開催された。この内容に対して、さらに生徒総会の場でも議論され、自分たちのふるさとについて考える良い機会にもなった。今後は保護者や地域も巻き込み、連携をさらに強固なものにして、児童生徒のキャリアやふるさとを愛する気持ちを育成できる取組が実施できるようにしたい。

【No. 16】

事務事業	コミュニティ・スクール(CS)推進事業	担当課	学校教育課
------	---------------------	-----	-------

1 事務事業の概要

コミュニティ・スクールの仕組みを生かした学校・家庭・地域が連携・協働する体制づくりをめざし、学校を中心に世代を超えた新たな絆が生まれるように、地域総がかりによる学校支援や子どもの育成に努める。
--

2 事務事業のコスト

単位:千円

令和4年度決算額	令和5年度決算額
250	250

3 事務事業を構成する業務

No	業 務 名	No	業 務 名
1	地域連携教育の取組への指導・支援	4	
2	各校における「学校・地域連携カリキュラム」のマネジメントの進行管理	5	
3	学校運営協議会における指導助言	6	

4 事務事業の評価

評価	主な理由
A	児童生徒が主体的に参加した熟議が行われ、地域住民と児童生徒がお互いの特技を理解し連携が進められている。 キャリア教育とも関連しており、成果が上がっていると評価する。

5 事務事業の今後の課題

各学校運営協議会において、全ての学校で児童生徒が参加した熟議が行われるようになった。熟議で協議したことを児童生徒が主体的に実行に移し、成果を挙げている。また、学校・地域連携カリキュラムのマネジメントについて、地域協育ネット運営委員会と関連させて呼びかけ、各校とも見直しを図ることができた。 今後の地域連携教育では、児童生徒とともに地域の大人が学ぶ、ICT 等学んだことを児童生徒が大人に教える活動をする、大人が学校支援等において生涯学習の成果を発揮するなど、学校における大人の学びの展開が求められている。各校で積極的に実践がはかれるように学校運営協議会等に情報提供や指導・助言をしていきたい。
--

【No. 17】

事務事業	学校給食センター運営事業	担当課	学校教育課
------	--------------	-----	-------

1 事務事業の概要

成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のため、安全で美味しくバランスのとれた食事を提供することにより、健康の増進、体位の向上を図る。

また、正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身に付け、「食べること」とおして自然の恵みや人々の温かい心への感謝の気持ちを育てる。

児童生徒が生涯にわたり健康で過ごすために、自己管理能力を身に付け、多様で個性豊かな教育的なねらいをもった学校給食を推進する。

2 事務事業のコスト

単位:千円

令和4年度決算額	令和5年度決算額
71, 495	66, 038

3 事務事業を構成する業務

No	業 務 名	No	業 務 名
1	地場産週間(年3回)への参画	4	
2	栄養教諭による小・中学校への給食巡回訪問	5	
3	給食調理配送業務委託	6	

4 事務事業の評価

評価	主な理由
A	安全でおいしい給食が提供されており、地場産食材の使用率も高く、町の活性化にも繋がる運営となっている。

5 事務事業の今後の課題

調理業務等委託事業者と緊張感のある関係を保ち業務の連携を図る。

調理上の衛生管理を徹底し、日々の給食を安全に提供できることに努める。

地場産業者や田布施農工高校との情報交換、仕入れの連携を積極的に行い、高い地場産食材使用率を維持、推進する。

田布施町給食センターの平生町との共同利用について令和5年度協定書を締結し、令和7年9月の稼働に向けて施設整備を進める。

【No. 18】

事務事業	生きがい教室開催事業	担当課	社会教育課
------	------------	-----	-------

1 事務事業の概要

60 歳以上の町民を対象に、様々な分野の講師、指導者の講座により学習し、地域の人や子どもとのふれあいを深めることにより、町民の生きがいづくりを図る。

各地域の公民館と連携・協力し教室生を募り、講座の計画・立案等を行い、生きがい教室を月1回程度開催する。(講座運営費として年 1,500 円を徴収)

2 事務事業のコスト

単位:千円

令和4年度決算額	令和5年度決算額
308	350

3 事務事業を構成する業務

No	業 務 名	No	業 務 名
1	城南生きがい教室	4	麻郷生きがい教室
2	西田布施生きがい教室	5	麻里府生きがい教室
3	東田布施生きがい教室	6	生きがい教室研修旅行

4 事務事業の評価

評価	主な理由
A	参加者の減少や内容のマンネリ化、送迎や男性の参加などに対応するための努力や工夫が必要であるが、参加者は喜びを持って参加されており、各公民館で継続して確実に実施されている。

5 事務事業の今後の課題

年々参加者が減っているため、参加者を増やす方策を検討する必要がある。また、男性の参加者が少ないため、男性の参加しやすい講座となるよう、内容を検討していく。

【No. 19】

事務事業	学校・家庭・地域連携協力推進事業	担当課	社会教育課
------	------------------	-----	-------

1 事務事業の概要

放課後子ども教室事業や、家庭教育支援推進事業等を実施し、安全・安心な放課後の子どもの居場所づくりと子どもと地域の交流の場づくりを推進する。

2 事務事業のコスト

単位:千円

令和4年度決算額	令和5年度決算額
3, 752	3, 664

3 事務事業を構成する業務

No	業 務 名	No	業 務 名
1	放課後子ども教室	4	オープンスクール事業
2	田布施町地域協育ネット (運営委員会・研修会)	5	学習・学校支援ボランティアバンク
3	家庭教育支援推進事業	6	

4 事務事業の評価

評価	主な理由
A	子ども達の居場所作りや地域の交流の場作りができている。また、子ども達の支援を通して大人の生きがい作りや町の活性化に繋がっている。

5 事務事業の今後の課題

地域のボランティアにより事業が成り立っているが、ボランティアの確保と指導員の後継者育成が人材不足により困難となってきた。公民館講座や生きがい教室など、様々な場面でボランティア人材を育成・確保できるよう努める。
--

【No. 20】

事務事業	二十歳のつどい開催事業	担当課	社会教育課
------	-------------	-----	-------

1 事務事業の概要

新たに二十歳を迎える方の自主運営による二十歳のつどいを開催する。

2 事務事業のコスト

単位:千円

令和4年度決算額	令和5年度決算額
1, 812	1, 023

3 事務事業を構成する業務

No	業 務 名	No	業 務 名
1	二十歳のつどい	4	
2		5	
3		6	

4 事務事業の評価

評価	主な理由
A	実行委員会の運営に職員の支援は必要。その中で実行委員会を中心に運営できている。

5 事務事業の今後の課題

これまでも新たに二十歳を迎える方の有志による実行委員会形式で企画運営をしてきたが、内容や準備について、職員が主導で進める部分もあった。そのため、今後は式典の内容や準備・企画、進行まで実行委員を中心とした新たに二十歳を迎える方で主体的に運営できるように支援していく。
--

【No. 21】

事務事業	人権教育推進事業	担当課	社会教育課
------	----------	-----	-------

1 事務事業の概要

田布施町人権教育推進協議会が中心となって、人権学習講座、人権教育推進大会等を開催する。また、町広報への掲載等の活動により、人権啓発に努め、町ぐるみの人権学習を推進する。 地域では、各自治会に設置する社会教育長を中心に地域懇談会や研修会を開催し、人権の啓発に努める。
--

2 事務事業のコスト

単位:千円

令和4年度決算額	令和5年度決算額
1, 513	1, 558

3 事務事業を構成する業務

No	業 務 名	No	業 務 名
1	人権学習講座	4	地域懇談会
2	人権教育推進大会	5	
3	社会教育部長会	6	

4 事務事業の評価

評価	主な理由
A	人権研修に参加する役員も交代していくため成果は確実に町内に広がっている。また、人権学習講座や人権推進大会で講演が実施されている。若い世代の参加など、参加者層の拡大には工夫が必要。

5 事務事業の今後の課題

参加者が自治会関係者、教職員、民生児童委員、社会教育部長、婦人会などの社会福祉行政関係団体などに固定化している。参加者層の拡大に向けてより多くの町民に興味や関心をもってもらえるようなテーマの設定や講師の選定など内容を工夫する必要がある。

【No. 22】

事務事業	青少年の健全育成事業	担当課	社会教育課
------	------------	-----	-------

1 事務事業の概要

青少年健全育成町民会議や子ども会育成連絡協議会と連携し、「家庭充実の日」運動の普及や様々な体験活動を実施する。また、スカウト育成協議会など子ども達の育成に寄与する各種団体を支援する。

2 事務事業のコスト

単位:千円

令和4年度決算額	令和5年度決算額
650	920

3 事務事業を構成する業務

No	業 務 名	No	業 務 名
1	青少年健全育成町民会議補助	4	
2	子ども会育成連絡協議会補助	5	
3	スカウト育成協議会補助	6	

4 事務事業の評価

評価	主な理由
A	少子化の中で子ども会育成連絡協議会が実施できなくなった活動を青少年健全育成町民会議が継承して実施していることは評価できる。今後の発展に期待している。

5 事務事業の今後の課題

令和5年度末をもって、町内全ての子ども会が町子ども会育成連絡協議会を退会し、事業が継続できなくなったため、令和6年度から子ども会育成連絡協議会が行っていた事業を青少年健全育成町民会議で実施することとなった。子どもたちが地域活動に参加する機会が減ることのないよう、今後も継続的な取り組みが必要。内容についてもしっかりと協議し、子どもの主体性を活かした事業やボランティアとして運営に携われる事業などを検討していく。

【No. 23】

事務事業	地域公民館まつり開催事業	担当課	社会教育課
------	--------------	-----	-------

1 事務事業の概要

10月から11月の時期に各公民館で、公民館まつり実行委員会の企画運営により公民館まつり、文化祭、文化展を開催する。

2 事務事業のコスト

単位:千円

令和4年度決算額	令和5年度決算額
240	400

3 事務事業を構成する業務

No	業 務 名	No	業 務 名
1	城南公民館まつり(文化展)	4	麻郷公民館まつり(文化展)
2	西田布施ふれあい文化祭(文化展)	5	麻里府文化展
3	東田布施公民館まつり(文化展)	6	

4 事務事業の評価

評価	主な理由
A	地域のふれあいの場として行事が継続されており、職員や中学生ボランティアが参加することで担い手の育成に繋がっている。

5 事務事業の今後の課題

役員の高齢化により、まつりの運営や準備、片付け等が負担になってきており、町職員や中学生ボランティアによる支援が大きな助けになっている。今後は、地域の子供達による出店など、地域全体でまつりを盛り上げ、若い人の参加が増えるよう検討していく必要がある。

【No. 24】

事務事業	公民館運営事業	担当課	社会教育課
------	---------	-----	-------

1 事務事業の概要

公民館運営委員会、実行委員会を開催し、球技大会、盆踊り大会、料理教室などのイベントを企画・運営し、講座室等の貸館業務などの一般事務を行う。

2 事務事業のコスト

単位:千円

令和4年度決算額	令和5年度決算額
24, 132	27, 735

3 事務事業を構成する業務

No	業 務 名	No	業 務 名
1	公民館施設管理・事務	4	
2	公民館運営委員会	5	
3	公民館講座	6	

4 事務事業の評価

評価	主な理由
A	地域の人々のふれあいの場として多くの行事を実施し、高齢者の相談窓口や避難所としてなど多くの役割を果たしている。

5 事務事業の今後の課題

高齢化や時代の変化により地域のイベント行事(地域のまつりや球技大会、盆踊り、どんど焼き)が廃止されつつある一方で、災害時等では地域コミュニティーの必要性が再認識されてきている。公民館講座の利用者減はあるものの、地域の人々のふれあいの場、学習の場として公民館の役割を果たせるよう、取り組みを推進していく。

【No. 25】

事務事業	公民館施設管理事業	担当課	社会教育課
------	-----------	-----	-------

1 事務事業の概要

各公民館施設の維持管理を行う。

2 事務事業のコスト

単位:千円

令和4年度決算額	令和5年度決算額
14, 659	12, 783

3 事務事業を構成する業務

No	業 務 名	No	業 務 名
1	施設管理・修繕	4	
2		5	
3		6	

4 事務事業の評価

評価	主な理由
A	老朽化による費用の増大はやむを得ない中で計画的に適切な修繕を行えている。

5 事務事業の今後の課題

施設の老朽化により、雨漏りや破損箇所の修繕など費用が増大している。公共施設個別施設計画に基づき状況に応じて公民館の改修工事を実施する。

【No. 26】

事務事業	図書館管理運営事業	担当課	社会教育課
------	-----------	-----	-------

1 事務事業の概要

田布施図書館を読書活動の拠点施設とし、移動図書等による幼稚園・保育園・学校等との連携、ボランティアと協働した活動により読書活動の普及・啓発を図る。

2 事務事業のコスト

単位:千円

令和4年度決算額	令和5年度決算額
27, 818	17, 297

3 事務事業を構成する業務

No	業 務 名	No	業 務 名
1	資料収集・管理業務	5	子ども読書活動推進業務
2	資料提供業務	6	イベント業務
3	相互貸借・レファレンス業務	7	学校図書館支援業務
4	移動図書館・団体貸出業務	8	ボランティアとの連携・協働業務

4 事務事業の評価

評価	主な理由
A	読書活動の推進に向けて、各年代に応じた環境が整えられている。より多くの方の利用に向けて、各種催しやボランティアグループの活動など、読書活動への普及に引き続き努めていただきたい。

5 事務事業の今後の課題

今後も、引き続き良書を確保し、資料の収集、整理に努める必要がある。 これまで協働してきたボランティアの高齢化や、学生ボランティアの活動縮小などで、お話会の担い手の確保に苦慮している。図書館のイベントに不可欠であるボランティアに携わる人材の確保、育成が課題である。 学校図書館に田布施図書館と同じシステムを導入した。学校との連携を深め、支援・協力を推進していく必要がある。
--

【No. 27】

事務事業	郷土館管理運営事業	担当課	社会教育課
------	-----------	-----	-------

1 事務事業の概要

岸信介・佐藤栄作兄弟宰相を中心に、本町ゆかりの人物の遺品・遺作等を展示公開し、また、国森、後井などの古墳・遺跡からの出土遺物等の展示を通して、郷土の歴史と文化に対する理解を深め、文化の向上を図る。

2 事務事業のコスト

単位:千円

令和4年度決算額	令和5年度決算額
8, 092	7,079

3 事務事業を構成する業務

No	業 務 名	No	業 務 名
1	山口県埋蔵文化財巡回展(講演会含む)	4	
2	田布施町埋蔵文化財巡回展	5	
3		6	

4 事務事業の評価

評価	主な理由
B	郷土の歴史を学べる場所として提供ができており、展示品の管理も十分に行われている。 また、町内の学校に対する出前講座も行うことが可能であることも評価できる。 展示の工夫をされていることで、将来的に図書館との連携を図ることが望ましい。

5 事務事業の今後の課題

コロナ5類に引き下げられて以降、来館者数が712人まで回復した。今後、上記事業だけでなく、常設展示の模様替えを行い、田布施町の歴史について学習してもらう機会をつくる。
また、郷土の歴史についての講座や各学校の児童・生徒に対する学習支援も行っていく。

【No. 28】

事務事業	埋蔵文化財調査事業	担当課	社会教育課
------	-----------	-----	-------

1 事務事業の概要

国営緊急農地再編整備事業に伴う発掘調査を行う。 周知の埋蔵文化財包蔵地における開発事業計画等の申請事務等処理する。

2 事務事業のコスト

単位:千円

令和4年度決算額	令和5年度決算額
35, 220	20,724

3 事務事業を構成する業務

No	業 務 名	No	業 務 名
1	南周防農地整備事業吉井団地埋蔵文化財発掘調査(その4)委託業務	4	
2	南周防農地整備事業麻郷奥団地埋蔵文化財発掘調査取りまとめ(その2)委託業務	5	
3		6	

4 事務事業の評価

評価	主な理由
B	目標にある令和8年度までの報告書刊行に向けて見通しが立っていること、スタッフとなる方々と連携して行っていることは評価できる。今後とも、計画通りに事業を進めていただきたい。

5 事務事業の今後の課題

今後、上記事業で発掘した報告書について、令和8年度を目標に終了できるよう努める。

【No. 29】

事務事業	町史編修事業	担当課	社会教育課
------	--------	-----	-------

1 事務事業の概要

田布施町史の編修を行う。 令和3年度から令和6年度の4ヵ年で田布施町の平成史を刊行する。
--

2 事務事業のコスト

単位:千円

令和4年度決算額	令和5年度決算額
4, 052	3,458

3 事務事業を構成する業務

No	業 務 名	No	業 務 名
1	「田布施町史平成版」編修業務	4	
2		5	
3		6	

4 事務事業の評価

評価	主な理由
C	スケジュールに大幅な遅れが生じているため、次年度に編集業務の改善をして、令和7年1月に発刊できるように努めて頂きたい。

5 事務事業の今後の課題

現在、予定していたスケジュールより大幅に遅れが生じている。今後、事務局、委託業者の執筆ライターを増員させ事業完了に向けて進めていく必要がある。
--

【No. 30】

事務事業	スポーツ推進体制強化事業	担当課	社会教育課
------	--------------	-----	-------

1 事務事業の概要

「生涯スポーツのまち田布施」の実現のため、スポーツ推進委員が中心となり年齢、体力に応じたスポーツ活動への参加、参画を啓発し、関係団体と連携しスポーツ活動の機会の充実を図る。また、スポーツ団体指導者の研修、ボランティアの育成など人材育成に努める。

2 事務事業のコスト

単位:千円

令和4年度決算額	令和5年度決算額
546	550

3 事務事業を構成する業務

No	業 務 名	No	業 務 名
1	山口県スポーツ推進委員研修会	4	
2	町スポーツイベントでの指導及び協力	5	
3	町スポーツ推進委員会	6	

4 事務事業の評価

評価	主な理由
A	モルックやスラックライン等のニュースポーツとして新しい分野に取り組んでいる。 また、スポーツ推進員が積極的に講習会に参加するなど、委員の資質向上が図られているとともに、若い人材の参加も見られ推進体制の強化に繋がっている。

5 事務事業の今後の課題

スポーツ推進委員の活動でモルックやスラックライン等のニュースポーツの普及に取り組んだ。
地域スポーツにおいて重要な役割を担うスポーツ推進委員について、国や県が開催する講習会へ参加し、委員の資質向上を図るとともに、引き続き、人材育成・確保に向けて取り組んでいく必要がある。

【No. 31】

事務事業	生涯スポーツ推進事業	担当課	社会教育課
------	------------	-----	-------

1 事務事業の概要

全ての町民が様々な形でスポーツに関わり、健康で生きがいを感じることができる「生涯スポーツのまち田布施」の実現を目指し、ひとりスポーツを合い言葉に、スポーツを通じて体力を強化し、健康の維持増進を図ることを目的に、スポーツ団体、スポーツイベントを支援する。

2 事務事業のコスト

単位:千円

令和4年度決算額	令和5年度決算額
3, 031	3, 133

3 事務事業を構成する業務

No	業 務 名	No	業 務 名
1	町内駅伝競走大会 (田布施体育協会)	4	結団式、ジュニアリーダースクール (田布施町スポーツ少年団)
2	たぶせスポーツまつり (たぶせスポーツまつり実行委員会)	5	
3	会員親睦交流事業、幼児・小学生水泳教室 (田布施スポーツクラブ)	6	

4 事務事業の評価

評価	主な理由
A	子どもから高齢者まで幅広くスポーツに取り組まれており、計画された事業は確実に実施されている。 今後も、スポーツ団体等の課題などに対して行政支援を継続していただきたい。

5 事務事業の今後の課題

本町の地域スポーツの推進に関して、重要な役割を担う田布施体育協会、田布施スポーツクラブ、田布施町スポーツ少年団等のスポーツ団体は、子どもから高齢者まで幅広く日常的にスポーツ活動に取り組んでいる。 しかしながら、近年、会員・団員、さらには指導者の確保といった課題が顕著となり、環境の変化を踏まえた支援や活性化に向けて取り組んでいく必要がある。
--

【No. 32】

事務事業	我がまちスポーツ推進事業	担当課	社会教育課
------	--------------	-----	-------

1 事務事業の概要

「生涯スポーツのまち田布施」の実現を目指す一つの取組として、ウォーキングの普及を図る。

2 事務事業のコスト

単位:千円

令和4年度決算額	令和5年度決算額
—	—

3 事務事業を構成する業務

No	業 務 名	No	業 務 名
1	ウォーキング大会	4	
2	魅力再発見ウォーキング	5	
3		6	

4 事務事業の評価

評価	主な理由
A	ウォーキングを「我がまちスポーツ」として啓発・普及・定着に努めている。 また、地域交流活動の促進と地域活性化が図られており、継続して企画運営をしていたきたい。

5 事務事業の今後の課題

ウォーキングを「我がまちスポーツ」とし、年間25回「魅力再発見ウォーキング」、年に1回ウォーキング大会を開催し、ウォーキングの啓発・普及・定着に努め、地域交流活動の促進と地域活性化を図っている。 今後は、町内のウォーキングコース図「魅力再発見ウォーキングマップ」を活用し、町内外のより多くの人が自然や文化に触れながらスポーツに親しむことができるよう取り組む。

【No. 33】

事務事業	スポーツセンター管理運営事業	担当課	社会教育課
------	----------------	-----	-------

1 事務事業の概要

施設を安全・快適に利用できるよう、円滑に管理・運営を行う。

2 事務事業のコスト

単位:千円

令和4年度決算額	令和5年度決算額
26, 869	21, 561

3 事務事業を構成する業務

No	業 務 名	No	業 務 名
1	第1体育館大規模改修工事実施設計単価入替業務	4	スポーツセンター備品購入(プール清掃用品、デジタル自動血圧計)
2	施設修繕(第2体育館天井ランプ取替工事、麻里府艇庫電力計ボックス修理工事等)	5	
3	施設管理委託(消防設備点検、電気保安管理、浄化槽管理、清掃業務、水質検査等)	6	

4 事務事業の評価

評価	主な理由
A	利用者が安全快適に利用できるよう計画的に修繕が進めてられている。 今後も引き続き、計画的な修繕を実施していただきたい。

5 事務事業の今後の課題

令和5年度の施設利用者数は63, 761人で、新型コロナウイルス蔓延前の水準に持ち直した。
一方で、施設全般で老朽化が進んでいるため、利用者が気軽に安全にスポーツ施設を利用できるように必要に応じて修繕等を行う。
また、大規模改修については、田布施町公共施設個別施設計画により計画的に実施することとし、令和6年度は第1体育館の大規模改修を実施する予定である。

4 今後の取組について

教育委員会においては、令和5年度までの事業の成果と課題を踏まえつつ、「第6次田布施町総合計画」及び「田布施町教育振興基本計画」に基づき、田布施町の教育の充実に努めてまいります。

とりわけ、学校教育にあつては、複雑で予測困難なこれからの時代を生き抜いていく子どもたちが、夢や志をもち、多様な人々と協働して、豊かな人生を切り拓いていく力を育むことができるよう学校教育の充実に努めてまいります。

また、社会教育においては、町民一人ひとりが生きがいをもち、活力ある地域社会を築いていけるよう、生涯にわたる学びを支援する環境づくりに努めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働した教育の拡充に努めてまいります。